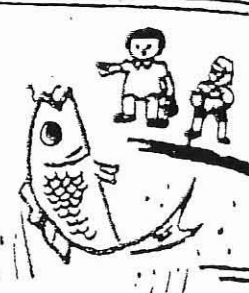




所行期 社本京東新日朝
電話三三三二一
印刷所 東京朝日新聞社



豊島園
東京都荒川区西豊島
電話三三三二一

共同の目標五大原則

不滅の大東亞を建設

世界史畫す十億の總意

我々のアジア解放の聲、大東亞共同宣言の叫びは、大東亞各國は皆代表東亞首相、中國代表行政部長、タイ代表首相代理、インド代表首相、滿洲國代表國務總理、フィリピン代表ラウル大統領、ビルマ代表バー・モウ首相の列席、自由印度臨時政府首長チャンドラ・パーラスの演説のうちに、六月五日夜、五十分鐘、一致を以て世界史を畫する大東亞共同宣言を採擇した。ここに大東亞建設、大東亞戰爭終結に對する十億東亞民族の熱烈なる要求は、一丸となつて發せられ、大東亞各國は互に大東亞共同宣言において、大東亞を建設せんとする敢死の野望を徹底的に粉砕すべく相提攜して大東亞戰爭を終結、道義に堪へる方、大東亞を建設し、世界平和を確立せんとする確固不動の決意を露明するやうに併せて、共存共榮一、獨立親和、文化市場、經濟繁榮、世界進言の五大原則を根幹とする不滅の大東亞建設綱領を中外に闡明した。この綱領は、各民族の新しい大東亞の姿、輝かしきアジアの黎明であると同様に、各世界史の象徴でもある、今の大東亞各國、各民族は世界に和平として顯示されたこの大東亞共同宣言によつて、いよいよ、大東亞に相結はれるに至り共同の目標たる大東亞戰爭終結、アジアの解放、大東亞建設目標し共同の道線に立つて一齊に進むを開始した。

大東亞會議事務局發表

昭和十八年十一月五日及六日

日の両日東京に於て大東亞會議を開催せり、同會議に出席の各國代表者左の通

- | | | | |
|------------|--------------------|----------|---|
| 日本國 | 內閣總理大臣 東條英機 閣下 | 滿洲國 | 國務總理大臣 張景惠 閣下 |
| 中華民國 | 國民政府行政院院長 汪兆銘 閣下 | フィリピン共和國 | 大統領 ホセ・ペー・ラウレル 閣下 |
| タイ國 | 內閣總理大臣 ビー・ヒン・ソングラム | ビルマ國 | 內閣總理大臣 バー・モウ 閣下 |
| 元帥閣下の名代として | | 同會議においては | 大東亞戰爭終結と大東亞建設の方針として、各代表は、協賛なき強硬を掲げたる是全會一致を以て其の共同宣言を採擇せり |

大東亞共同宣言

抑々世界各國が各其の所を得相倚り相扶けて萬邦共榮の樂を偕にするは世界平和確立の根本要義なり
然るに米英は自國の繁榮の爲には他國家他民族を抑壓し特に大東亞に對しては飽くなき侵略擄取を行ひ大東亞隸屬化の野望を逞うし遂には大東亞の安定を根柢より覆さんとせり大東亞戰爭の原因茲に存す

大東亞各國は相提攜して大東亞戰爭を完遂し大東亞を米英の淫權より解放して其の自存自衛を全うし左の綱領に基き大東亞を建設し以て世界平和の確立に寄與せんことを期す

一、大東亞各國は協同して大東亞の安定を確保し道義に基き共存共榮の秩序を建設す

一、大東亞各國は相互に自主獨立を尊重し互助救済の實を擧げ大東亞の親和を確立す

一、大東亞各國は相互に其の傳統を尊重し各民族の創造性を伸揚し大東亞の文化を昇揚す

一、大東亞各國は互恵の下緊密に提携し其の經濟發展を圖り大東亞の繁榮を推進す

一、大東亞各國は萬邦との交誼を篤うし人種的差別を撤廢し普く文化を交流し進んで資源を開放し以て世界の進進に貢獻す

大東亞共同宣言中外に闡明

大東亞會議第二日 滿場一致採擇